

201221022A

厚生労働科学研究費補助金

がん臨床研究事業

治癒切除後の再発リスクが高い進行胃がん(スキルス胃がんなど)に
対する標準的治療の確立に関する研究

平成24年度 総括研究報告書

研究者代表者 笹子 三津留

平成 25 (2013) 年 3 月

目 次

I. 総括研究報告

治癒切除後の再発リスクが高い進行胃がん（スキルス胃がんなど）に 対する標準的治療の確立に関する研究	1
筐子 三津留	

II. 研究成果の刊行に関する一覧表

	19
--	----

III. 研究成果の刊行物・別刷

	23
--	----

厚生労働科学研究費補助金（がん臨床研究事業）
総括研究報告書

治癒切除後の再発リスクが高い進行胃がん（スキルス胃がんなど）に対する
標準的治療の確立に関する研究

研究代表者 笹子 三津留 兵庫医科大学外科 主任教授

腹腔鏡検査を含めた臨床ステージングで遠隔転移が無く、完全切除可能と考えられる大型3型・4型胃がんに対して、D2手術およびTS-1による術後補助化学療法1年投与を対照とし、試験治療であるTS-1+CDDP療法2コース後に同様な手術と補助化学療法を施行する新規治療の優越性を検証するランダム化比較試験を実施している。試験治療に関する安全性の問題もなく、概ね順調に登録が実施され、昨年1月以降に64例を登録し、残り12例の登録で登録終了となる。1 昨年の第1回中間解析同様、プロトコールに従って多重性を考慮した厳格な方法による第2回中間解析を登録予定数登録後に実施する予定である。現在の状況では、本年6月の追跡調査データを用いて実施される見込みである。その結果の解釈、試験継続の判定はJCOGの効果・安全性評価委員会によって2013年9月に実施される予定である。

研究分担者

高木 正和	静岡県立総合病院外科 教育研修部長	円谷 彰	神奈川県立がんセンター 消化器外科 部長
山上 裕機	和歌山県立医科大学第2 外科 教授	吉田 和弘	岐阜大学大学院腫瘍制御 学講座腫瘍外科学分野 教授
福島 紀雅	山形県立中央病院外科 医長	稲木 紀幸	石川県立中央病院消化器 外科 医長
土岐 祐一郎	大阪大学大学院医学系研 究科消化器外科学 教 授	稲田 高男	栃木県立がんセンター外 科・臨床検査部 臨床試 験管理部長
加治 正英	富山県立中央病院外科 部長	井上 健太郎	関西医科大学外科学講座 助教
河内 保之	長岡中央総合病院外科 部長	浅生 義人	天理よろづ相談所病院腹 部一般外科 医員、手術 部副部長
畑 啓昭	独立行政法人国立病院機 構京都医療センター外科 医師	西岡 豊	高知県・高知市病院企業 団立高知医療センター消 化器外科・一般外科 地 域医療センター長
岩崎 善毅	東京都立駒込病院外科 部長		

二宮 基樹	広島市立広島市民病院外科 副院長・主任部長
藤原 義之	大阪府立成人病センター 消化器外科 副部長
衛藤 剛	大分大学医学部第一外科 講師
寺島 雅典	静岡県立静岡がんセンター 胃外科部長
肥田 圭介	岩手医科大学外科学講座 講師

A. 研究目的

全体では70%近い治癒率を達成した胃がんにおいて、依然10%程度の5年生存率にとどまっているスキルス胃がん、あるいはそれに準ずる大きな3型胃がんの予後改善が本研究の目的である。スキルス胃がんは20代の若年者にも多く発生し、数多くの悲劇を生んできた。就労期の患者が多数を占める同疾患の予後改善の必要性は高く、その社会的な意義も極めて大きい。今後ピロリ菌感染率の低下により、若年者における胃がんは未分化型のものが主流となり、スキルス胃がんの比率が上昇することも予想される。初版のがん対策基本法にうたわれた75才以下のがん生存率の改善にこの研究は極めて重要である。

B. 研究方法

【研究形式】多施設共同の第Ⅲ相ランダム化比較試験（優越性試験）：標準治療を対照としたランダム化比較試験で、プライマリーエンドポイントは全生存期間。

【研究対象】腹腔鏡検査を含めた臨床的検索で遠隔転移を伴わない（ただし洗浄細胞診陽性あるいは大網内に限局した播種は適格）、治癒切除可能な8cm以上の大型3型・4型胃がん症例を対象とした。術前の画像診断で食道浸潤が3cm以下であり、

登録時の年齢が20歳以上75歳以下、PS0,1、十分な経口摂取ができ、諸臓器の機能が良好で、患者本人の自由意志に基づく文書による同意を得ていること。

【症例登録とランダム割付】腹腔鏡検査の結果を含めて適格性を満たし、同意が得られた患者をJCOGデータセンターで中央登録する。施設、肉眼型、壁深達度、リンパ節転移程度を割付調整因子として最小化法にて割り付ける。

【治療内容】試験治療：術前TS-1(3週投与1週休薬) + CDDP(day8)による化学療法を2コース行う。治癒切除可能症例ではD2郭清を伴う根治手術を行い、術後6週以内よりTS-1単独による化学療法を手術後1年を目安に実施する。対照群：割付後早期に試験群と同様な内容の手術を行い、術後は試験治療と同じTS-1単剤による化学療法を、1年を目安に実施する。

【解析方法】全生存期間を用いた第1回中間解析は実施され、試験の継続が決定した。予定登録数の全数の登録終了後に第2回目の中間解析を実施する。中間解析は適切な方法で多重性を考慮して行う。最終解析は、全例登録後3年経過時点で行う。

【予定症例数】予定登録数は316例である。

【実施施設】JCOG胃がん外科グループに所属する消化器がんの基幹施設52施設で実施された。

（倫理面への配慮）

本第Ⅲ相試験は、臨床試験評価委員会では手術単独を対照群とした試験として承認され、開始されたが、ACTS-GC試験（術後TS-1単独療法による補助化学療法を評価するランダム化比較試験）の結果をふまえて標準治療が変わった。倫理的観点から、それが判明した時点で即刻登録を中止し、約半年の作業でプロトコルを改訂し、改訂プロトコルは平成19年2月にJCOG効果安全性評価委員会

で承認された。各参加施設では倫理審査委員会で変更点に関する審査を受け、再登録を再開した。また、ランダム化比較試験における被検者の不利益を最小限にするために適切な中間解析の設定をしている。本人に口答及び文章による説明を行い、文章による同意を得る。説明内容には、試験参加の自由、同意後の撤回の自由、質問の自由、個人情報扱いなどが含まれ、試験の同意取得は、ヘルシンキ宣言、個人情報保護法、臨床研究に関する倫理指針の総ての要件を満たして行われる。

C. 研究結果

本試験は 2005 年に手術単独と術前化学療法＋手術を比較する試験として開始されたが、2006 年に我が国の 1000 例を超す大規模試験で術後補助化学療法の有用性が証明され、我が国のステージ 2 以上の進行胃がんに対する標準治療は D2 手術＋術後 TS-1 の 1 年間投与に変更となった。この影響で試験の登録を一時中止して、両群ともに術後補助化学療法を加えた内容に治療を変更して 2007 年に再開した。2012 年 3 月末で 252 例を登録し、24 年度 52 例を追加し、平成 25 年 3 月 4 日現在 304 例が登録されている。おそらく 2013 年 6 月までには予定数登録が終了し、同時期の追跡データを用いた第 2 回の中間解析が実施される予定である。試験の継続に関しては、平成 25 年 9 月の JCOG 効果・安全性評価委員会の判断による。手術合併症による死亡はなく、順調に試験は進行している。

D. 考察

治癒切除可能進行胃がんに対する標準治療は 3 極化しており、米国では治癒切除後に術後放射線化学療法、欧州では術

前術後補助化学療法、我が国は治癒切除後 (D2) に術後化学療法単独となっている。術前化学療法は高いコンプライアンスが特徴で、微小転移のコントロールに期待が寄せられている。一方で無効症例での手術の遅れ、臨床的ステージングの間違いにより必ず一定頻度でその様な治療が不要な患者にまで負担をかけることなどの問題もある。また、我が国では術後補助化学療法単独でもかなり良好な治療成績を得ること、欧米に比して症例数が 5 倍以上多く、進行胃がんの全例に入院治療を要する術前化学療法を行う社会的な負担(医療経済)および入院マネジメントの煩雑さから、現時点では広く進行胃がんを対象とするには時期尚早と考えられている。本試験でかかる治療の有効性が明確となれば、通常型のステージ 3 胃がんを対象に術前化学療法を適応しようとする流れが予想できる。一方で、最近進行再発胃がん症例を対象に、TS-1 に Oxaliplatin を併用する治療が従来の標準である TS-1＋CDDP に対する非劣勢を証明したことから、術後に用いた場合の完遂率が悪い S-1＋CDDP でなく、TS-1＋Oxaliplatin を用いた術後補助化学療法もステージ III 胃がんの有望な試験治療となることから、本レジメンによる術前化学療法と標準治療との 3 アームの RCT などが考えられる。

E. 結論

予後不良な大型 3 型・4 型胃がんに対して TS-1＋CDDP による術前化学療法を 2 コース行う治療は安全に施行でき、今後の生存解析の結果が注目される。

F. 健康危険情報

現在まで登録された症例では該当なし。

G. 研究発表

1. 論文発表

- (1) M. Sasako: Gastric Cancer Eastern Experience. *Surg Oncol Clin N Am*, 2012; 21(1): 71-77.
- (2) T. Yoshikawa, M. Sasako: Gastrointestinal Cancer: Adjuvant chemotherapy after D2 gastrectomy for gastric cancer. *Nature Reviews Clinical Oncology*, 2012; 9: 192-194.
- (3) Mori R., Yoshida K., Tanahashi T., Yawata K., Kato J., Okumura N., Tsutani Y., Okada M., Oue N., Yasui W: Decreased FANCI caused by 5FU contributes to the increased sensitivity to oxaliplatin in gastric cancer cells. *Gastric Cancer*, 2012, in press.
- (4) Ishida K, Nishizuka S , Chiba T , Ikeda M , Kume K , Endo F , Katagiri H , Matsuo T , Noda H , Iwaya T , Yamada N , Fujiwara H , Takahashi M , Itabashi T , Uesugi N , Maesawa C , Tamura G , Sugai T , Otsuka K , Koeda K , Wakabayashi G: Molecular Marker Identification for Relapse Prediction in 5-FU-Based Adjuvant Chemotherapy in Gastric and Colorectal Cancers. *PloS ONE*, 2012; 7(8): e43236.
- (5) Inoue K, Nakane Y, Michiura T, Yamada M, Mukaide H, Fukui J, Miki H, Ueyama Y, Nakatake R, Tokuhara K, Iwamoto S, Yanagimoto H, Toyokawa H, Satoi S, Kwon AH: Ultrasonic Scalpel for Gastric Cancer Surgery: a Prospective Randomized Study. *Journal of Gastrointestinal Surgery*, 2012; 16(10): 1840-6.
- (6) Hirao M, Tsujinaka T, Imamura H, Kurokawa Y, Inoue K, Kimura Y, Shimokawa T, Furukawa H: Overweight is a risk factor for surgical site infection following distal gastrectomy for gastric cancer. *Osaka Gastrointestinal Cancer Chemotherapy Study Group (OGSG). Gastric Cancer*. 2012, in press.
- (7) Imamura H, Kurokawa Y, Tsujinaka T, Inoue K, Kimura Y, Iijima S, Shimokawa T, Furukawa H: Intraoperative versus extended antimicrobial prophylaxis after gastric cancer surgery: a phase 3, open-label, randomised controlled, non-inferiority trial. *Lancet Infect Dis*, 2012; 12(5): 381-7.
- (8) Takiguchi S., Yamamoto K., Hirao M., Imamura H., Fujita J., Yano M., Kobayashi K., Kimura Y., Kurokawa Y., Mori M., Doki Y.: A comparison of postoperative quality of life and dysfunction after Billroth I and Roux-en-Y reconstruction following distal gastrectomy for gastric cancer: results from a multi-institutional RCT. *Gastric Cancer*, 2012; 15: 198-205.
- (9) Miyagaki H., Yamasaki M., Takahashi T., Kurokawa Y., Miyata H., Nakajima K., Takiguchi S., Fujiwara Y., Mori M., Doki Y.: DOK2 as a marker of poor prognosis of patients with gastric adenocarcinoma after curative resection. *Ann Surg Oncol*, 2012; 19: 1560-1567.
- (10) Okada K., Fujiwara Y., Nakamura Y., Takiguchi S., Nakajima K., Miyata H., Yamasaki M., Kurokawa Y., Takahashi T., Mori M., Doki Y.:

Oncofetal protein, IMP-3, a potential marker for prediction of postoperative peritoneal dissemination in gastric adenocarcinoma. *J Surg Oncol*, 2012; 5: 780-785.

- (11) Yoshikawa T, Hiki N, Taguri M, Sano T, Nunobe S, Taniguchi H, Tsuburaya A et al: A Phase III trial to evaluate the effect of perioperative nutrition enriched with eicosapentaenoic acid on body weight loss after total gastrectomy for T2-T4a gastric cancer. *Japanese Journal of Clinical Oncology*, 2012; 42(5): 459-62.
- (12) Hayashi T, Yoshikawa T, Aoyama T, Ogata T, Cho H, Tsuburaya A. Severity of complications after gastrectomy in elderly patients with gastric cancer. *World journal of surgery*, 2012; 36(9): 2139-45.
- (13) Tokunaga M, Sugisama N, Tanizawa Y, Bando E, Kawamura T, Terashima M: The Impact of Preoperative Lymph Node Size on Long-Term Outcome Following Curative Gastrectomy for Gastric Cancer. *Annals of Surgical Oncology*, 2012; in press.
- (14) Tokunaga M, Tanizawa Y, Bando E, Kawamura T, Terashima M: Poor Survival Rate in Patients with Postoperative Intra-Abdominal Infectious Complications Following Curative Gastrectomy for Gastric Cancer. *Annals of Surgical Oncology*, 2012; in press.
- (15) Sugisawa N, Tokunaga M, Tanizawa Y, Bando E, Kawamura T, Terashima M: Intra-abdominal infectious complications following gastrectomy in patients with excessive visceral fat. *Gastric Cancer*, 2012; 15(2):206-212.

- (16) 北川雄光、瀧内比呂也、笹子三津留、小寺泰弘：胃癌補助化学療法の方角性—Post ACTS-GC—. *胃がん perspective*, 2012; 5(1): 5-12.
- (17) 石山泰寛、稲木紀幸、野宏成、松永正、北村祥貴、山本道宏、小竹優範、黒川勝、伴登宏行、山田哲司．S-1+CDDP による進行胃癌に対する術前化学療法の検討．*癌と化学療法*、2012; 39(13): 2517-2519.
- (18) 山口和也、吉田和弘、長田真二、高橋孝夫、奥村直樹、田中善宏：胃癌根治術における肝十二指腸間膜周囲リンパ節郭清．*手術* 66(6): 703-708,2012
- (19) 岩崎善毅、大橋学、岩永知大、大日向玲紀、高橋慶一、山口達郎、松本寛、中野大輔：高度進行胃癌に対する化学療法後の局所療法としての大動脈周囲リンパ節郭清の意義．*癌と化学療法*, 39(12) : 2319-2320,2012
- (20) 谷澤豊、寺島雅典、徳永正則、坂東悦郎、川村泰一、杉沢徳彦、三木友一朗、幕内梨恵、山川雄士、絹笠祐介、金本秀行、上坂克彦、安井博: Stage IV 胃癌に対する治療戦略 Stage IV 胃癌に対する Conversion Therapy. *癌と化学療法*, 2012; 39(13): 2469-2473

2. 学会発表

- (1) A. Ochiai, K. Kitada, I. Kurahashi, S. Sakuramoto, H. Katai, T. Sano, H. Imamura, M. Sasako: Impact of insulin-like growth factor 1 receptor (IGF1R) and amphiregulin(AREG) expressions on survival in patients with stage II/III gastric cancer enrolled in the ACTS-GC study. The 48th Annual Meeting of the American Society of Clinical Oncology,

McCormick Place, Chicago, U.S.A., Jun. 1-5, 2012.

(2) A. Ochiai, K. Kitada, W. Ichikawa, M. Terashima, I. Kurahashi, H. Katai, R. Kushima, M. Sasako: Expression analysis of MET, EGFR, and HER2, and K-ras Mutation Status in patients with stage II/III gastric cancer enrolled in the ACTS-GC study. 2013 Gastrointestinal Cancers Symposium, San Francisco, Jan.16-18, 2012.

(3) N. Fukushima, A. Nashimoto, Y. Kawachi, T. Fujimura, S. Kuwabara, N. Musha, K. Akazawa, for DCS Study Group. A multicenter phase II study of neoadjuvant chemotherapy (NAC) combined with docetaxel, cisplatin and S-1 (DCS) for locally advanced gastric cancer (AGC). ESMO 2012, 2012.9, Vienna.

(4) N. Inaki. Reduced port surgery for gastric cancer using 2 millimeter instruments. 20th International Congress of the EAES, 2012.6. Brussels

(5) N. Inaki. Practical technique for dissection of #6 LN based on embryology. Seoul International Gastric Cancer Forum. 2012.12. Seoul.

(6) Koeda K, Fujiwara H, Watanabe Y, Nishinari Y, Nishizuka S, Kimura Y, Nitta H, Otuka K, Mizuno M, Sasaki A, Wakabayashi G: Evaluation of biweekly irinotecan plus cisplatin as a second or third line chemotherapy in advanced or recurrent gastric cancer: a retrospective analysis. 10th International Conference of the Asian Clinical Oncology Society,

2012.6. Seoul.

(7) Koeda K, Fujiwara H, Wakabayashi G: Surgical procedures of laparoscopic vagus nerve preserving distal gastrectomy with D2 lymph node dissection. 4th Asia-Pacific Gastroesophageal Cancer Congress, 2012.7. Singapore.

(8) K. Yoshida: Surgical Treatment of Gastric Cancer in Eastern Country. 10th International Conference of The Asian Clinical Oncology Society (ACOS), 2012.6, Seoul, Korea.

(9) K. Yamaguchi, S. Saito, Y. Tanaka, N. Matsuhashi, N. Okumura, K. Nonaka, T. Takahashi, S. Osada, K. Yoshida: Evaluation Of Surgical Treatment For Advanced Gastric Cancer. 10th International Conference of The Asian Clinical Oncology Society (ACOS), 2012.6.14-15, Seoul, Korea.

(10) N. Okumura, W. J. Hyung, J. S. Lim, T. K. Lee, H-I Kim, T-I Son, Y. Hu, K. Yoshida, S. H. Noh: Transient Liver Damage After Laparoscopic and Robotic Gastrectomy. 10th International Conference of The Asian Clinical Oncology Society (ACOS), 2012.6.14-15, Seoul, Korea.

(11) K. Yawata, S. Osada, A. Yamada, J. Kato, T. Tanahashi, H. Imai, S. Saito, Y. Sasaki, Y. Tanaka, N. Matsuhashi, K. Nonaka, T. Takahashi, K. Yamaguchi, M. Futamura, K. Yoshida: Analysis Of Synergistic Effect With Vandetanib and 5-FU in Gastric Cancer Cells. 10th International Conference of The Asian Clinical Oncology Society (ACOS), 2012.6.14-15, Seoul, Korea.

(12) Yoshida K, Fujii M., Koizumi W.,

Kim H.-K., Kim Y.H., Takeuchi M., Nakajima T.: S-1 plus Docetaxel versus S-1 for Advanced Gastric Cancer (START Trial) Update 2012 (JACCRO and KCSG study Group). European Society for Medical Oncology 2012, 2012.9.29, Vienne, Austria.

(13) N. Okumura, K. Yoshida, K. Yamaguchi, Y. Tanaka, T. Takahashi, S. Osada: Retrospective Analysis of Laparoscopic Proximal Gastrectomy for Gastric Cancer. 5th Scientific Symposium of the Japanese-Hungarian Surgical Society, 2012.10.4-6, Budapest, Hungary.

(14) Y Nishizawa, N Saito, M Inomata, T Etoh, S Kitano, H Katayama, J Mizusawa, S Yamamoto, Y Kinugasa, S Fujii, F Konishi, Y Saida, Y Shimada, Y Moriya.: Short-term clinical outcomes from a randomized controlled trial to evaluate laparoscopic versus open complete mesocolic excision for stage II, III colorectal cancer(CRC):Japan Clinical Oncology Group study JCOG0404. American Society of Clinical Oncology 48th Annual Meeting, 2012.6.1-5 Chicago, Illinois.

(15) 笹子三津留、菊池正二郎、竹村雅至、大嶋勉、堀高明、松本友寛、海辺展明、山下英孝、小澤りえ、小寺泰弘：ステージIV胃がんに対する集学的治療。第112回日本外科学会定期学術集会、千葉、平成24年4月(12-14)。

(16) 海辺展明、菊池正二郎、盛本浩二、中森正二、竹村雅至、堀高明、大嶋勉、松本友寛、山下英孝、多田武志、小澤りえ、廣田誠一、前山義博、笹子三津

留：胃がん腹膜播種における上皮-間質組織遷移。第112回日本外科学会定期学術集会、千葉、平成24年4月(12-14)

(17) 菊池正二郎、盛本浩二、中森正二、竹村雅至、堀高明、大嶋勉、松本友寛、海辺展明、山下英孝、多田武志、小澤りえ、廣田誠一、前山義博、笹子三津留：胃がんにおけるEMTと胃がん-がん関連線維芽細胞の相互作用解析。第112回日本外科学会定期学術集会、千葉、平成24年4月(12-14)

(18) 岩谷岳、三森功士、西田尚弘、古後龍之介、赤木智徳、高橋佑典、澤田元太、石橋正久、柴田浩平、田中文明、主藤智也、若林剛、深川剛生、笹子三津留、森正樹：胃癌骨髄・原発巣におけるHistone mRNAおよびmiR-760発現変化。第112回日本外科学会定期学術集会、千葉、平成24年4月(12-14)。

(19) 菊池正二郎、前山義博、小澤りえ、海辺展明、山下英孝、松本友寛、大嶋勉、堀高明、竹村雅至、盛本浩二、中森正二、廣田誠一、笹子三津留：スキルス胃癌浸潤における微少環境の関与-Dynamic image analysis of microenvironment in gastric scirrhus cancer。第21回日本がん転移学会学術集会、広島、平成24年7月(12-13)。

(20) 菊池正二郎、盛本浩二、中森正二、竹村雅至、堀高明、大嶋勉、松本友寛、海辺展明、山下英孝、小澤りえ、前山義博、笹子三津留：胃がん浸潤と腹膜転移におけるがん-がん微少環境の相互作用解析。第67回日本消化器外科学会総会、富山、平成24年7月(18-20)。

(21) M. Sasako: Surgical Treatment: Multicenter surgical clinical trials. 第10回日本臨床腫瘍学会学術集会、大阪、平成24年7月(26-28)。

(22) 海辺展明、竹村雅至、小澤りえ、山下英孝、松本友寛、大嶋勉、堀高明、菊池正二郎、笹子三津留：左側臥位鏡視下食道切除における上縦隔リンパ節郭清の工夫と実際の手技. 第 67 回日本消化器外科学会総会、富山、平成 24 年 7 月 (18-20).

(23) 野村明芳、永井恵里奈、高木正和、高木哲彦、廣津周、和田尚人、高木航、小坂隼人、西岡裕次郎、松本知拓、宮川亨平、戸松真琴、大島健志、瀧雄介、佐藤真輔、京田有介、大端考、渡邊昌也、大場範行、伊関丈治. 切除不能胃癌に対し化学療法導入後に切除術を施行した 3 例. 静岡県癌治療研究会、2012.10 静岡.

(24) 中森幹人、辻俊明、岩橋誠、中村公紀、尾島敏康、飯田武、勝田将裕、松村修一、早田啓治、谷眞至、川井学、瀧藤克也、山上裕機：固形癌の環境破壊機能を有する腫瘍溶解ウイルス製剤の開発. 第 112 回日本外科学会、2012.4 幕張.

(25) 中村公紀、岩橋誠、中森幹人、尾島敏康、勝田将裕、飯田武、辻俊明、早田啓治、松村修一、川井学、谷眞至、瀧藤克也、山上裕機：胃癌に対する脾門リンパ節転移の予測因子と郭清の意義. 第 112 回日本外科学会、2012.4 幕張.

(26) 早田啓治、岩橋誠、尾島敏康、勝田将裕、飯田武、中森幹人、中村公紀、上田健太郎、宮澤基樹、辻俊明、川井学、谷眞至、瀧藤克也、山上裕機：癌微小環境で産生される炎症性サイトカイン IL-17 を標的とした新規腫瘍免疫療法の開発. 第 112 回日本外科学会、2012.4 幕張.

(27) 松村修一、中森幹人、岩橋誠、中村公紀、尾島敏康、飯田武、勝田将裕、

辻俊明、早田啓治、山上裕機：胃癌における Beclin-1 の発現とオートファジー誘導に関する基礎的・臨床的検討. 第 112 回日本外科学会、2012.4 幕張.

(28) 辻俊明、岩橋誠、中森幹人、中村公紀、尾島敏康、勝田将裕、飯田武、早田啓治、松村修一、山口俊介、谷眞至、川井学、瀧藤克也、山上裕機：CY陽性単独の非治癒切除胃癌症例の臨床病理学的検討. 第 112 回日本外科学会、2012.4 幕張.

(29) 早田啓治、岩橋誠、尾島敏康、勝田将裕、飯田武、中森幹人、中村公紀、宮澤基樹、辻俊明、上田健太郎、山上裕機：癌微小環境で産生される炎症性サイトカイン IL-17 の制御は腫瘍浸潤リンパ球の細胞傷害活性を増強する. 第 33 回癌免疫外科研究会、2012.5、横浜.

(30) 中森幹人、岩橋誠、辻俊明、松村修一、中村公紀、尾島敏康、飯田武、勝田将裕、早田啓治、山上裕機：消化器癌に対する機能付加型ウイルス製剤の基礎的研究開発. 第 67 回日本消化器外科学会、2012.7、富山

(31) 辻俊明、岩橋誠、中森幹人、中村公紀、尾島敏康、飯田武、勝田将裕、早田啓治、松村修一、山上裕機：審査腹腔鏡による胃癌腹膜播種診断と治療成績. 第 67 回日本消化器外科学会、2012.7、富山.

(32) 竹内昭博、中村公紀、飯田武、岩橋誠、中森幹人、尾島敏康、勝田将裕、辻俊明、松村修一、山上裕機：CDDP 投与を契機に SIADH を発症した進行胃癌の 2 例. 第 67 回日本消化器外科学会、2012.7、富山.

(33) 中村公紀、岩橋誠、中森幹人、尾島敏康、勝田将裕、飯田武、辻俊明、松村修一、瀧藤克也、山上裕機：超音

波内視鏡は胃癌の術前診断に有用か？
-1044 例からの解析-. 第 67 回日本消化器外科学会, 2012.7, 富山.

(34) 尾島敏康, 瀧藤克也, 中村公紀, 岩橋 誠, 中森幹人, 勝田将裕, 飯田武, 山上裕機: 胃 ESD に伴う合併症の解析. 第 84 回日本消化器内視鏡学会, 2012.10, 神戸.

(35) M. Nakamori, M. Iwahashi, T. Tsuji, S. Matsumura, T. Ojima, T. Iida, M. Nakamura, M. Katsuda, K. Hayata, Y. Ino, T. Todo, H. Yamaue: Therapeutic enhancement via an armed oncolytic herpes simplex virus expressing thrombospondin-1 for human gastric cancer. The 71st Annual Meeting of the Japanese Cancer Association, 2012.9, Sapporo.

(36) S. Matsumura, M. Nakamori, M. Iwahashi, M. Nakamura, T. Ojima, T. Iida, M. Katsuda, T. Tsuji, K. Hayata, H. Yamaue: The relationship between expression of Beclin-1 and autophagy in human gastric cancer. The 71st Annual Meeting of the Japanese Cancer Association, 2012.9, Sapporo.

(37) T. Ojima, M. Iwahashi, M. Nakamori, M. Nakamura, M. Katsuda, T. Iida, K. Hayata, T. Naka, T. Tsuji, S. Matsumura, T. Kato, K. Ueda, H. Yamaue: Association of allogeneic blood transfusions and long-term survival of gastric cancer patients. The 71st Annual Meeting of the Japanese Cancer Association, 2012.9, Sapporo

(38) 福島紀雅, 野村尚, 盛直生, 菅原秀一郎, 佐藤好宏, 大久保龍二: 胃がんに対する術前化学療法の組織学的効果と予後との関連. 第 67 回日本消化器

外科学会, 2012.7, 富山.

(39) 山岸岳人, 福島紀雅, 川村一郎, 石井範洋, 盛直生, 野村尚, 田村元: 当院における HER2 陽性進行・再発胃癌の臨床病理学的検討. 第 67 回日本消化器外科学会, 2012.7, 富山.

(40) 福島紀雅, 野村尚, 山岸岳人, 石井範洋, 蓮沼綾子, 飯澤肇: StageIV 胃がんに対する手術適応の検討. 第 50 回日本癌治療学会総会, 2012.10, 横浜.

(41) 野村尚, 福島紀雅, 山岸岳人, 石井範洋, 蓮沼綾子, 飯澤肇: 腹腔洗浄細胞診陽性胃癌の治療成績の改善. 第 50 回日本癌治療学会総会, 2012.10, 横浜.

(42) 福島紀雅, 野村尚, 根本大資, 津久井秀則, 飯澤肇. 胃がんに対する Staging laparoscopy の手技および成績. 第 85 回日本胃癌学会総会, 2013.2, 大阪.

(43) 山崎祐樹、加治正英、櫻井健太郎、金本斐子、中山啓、渡辺利史、河原洋平、大澤宗士、寺田逸郎、山本精一、前田基一、清水康一: 当科におけるスキルス胃癌 (4 型) 症例の検討、第 50 回日本癌治療学会学術集会、2012.10、横浜.

(44) 木下淳、加治正英、櫻井健太郎、羽場祐介、的場美紀、山口貴久、渡辺徹、河原洋平、天谷公司、寺田逸郎、山本精一、前田基一、清水康一: 当科における腹腔鏡下幽門保存胃切除の検討. 第 25 回日本内視鏡外科学会、2012.12、横浜.

(45) 河内保之、梨本篤: 局所進行胃癌に対する術前 Docetaxel+Cisplatin+S-1 併用療法+外科切除の第 II 相試験、第 50 回日本癌治療学会学術集会、2012.10、横浜.

(46) 河内保之: 高度進行胃癌に対する

DCS 療法による術前化学療法。第 85 回日本胃癌学会総会、2013.3、大阪。

(47) 畑啓昭, 大谷哲之, 川口清貴, 佐治雅史, 森山沙也香, 花田圭太, 谷昌樹, 村上隆英, 松末亮, 成田匡大, 山口高史, 猪飼伊和夫: 当科で‘行っている 12 番リンパ節郭清手技と注意点。第 25 回日本内視鏡外科学会総会, 2012.12 横浜。

(48) 畑啓昭, 大谷哲之, 川口清貴, 佐治雅史, 森山沙也香, 花田圭太, 谷昌樹, 村上隆英, 松末亮, 成田匡大, 山口高史, 猪飼伊和夫: 横隔膜脚上の剥離を先行させる Gerota・腓後筋膜を意識した#11p リンパ節郭清。第 85 回胃癌学会総会, 2013.2 大阪。

(49) 稲木紀幸. 胃癌に対する Reduced Port Surgery. 第 112 回日本外科学会定期学術集会, 2012.4. 東京

(50) 稲木紀幸. Reduced Port Surgery を考える. 第 21 回関東腹腔鏡下胃切除研究会. 2012.4. 東京

(36) 稲木紀幸, 土山寿志, 山田哲司. 上部消化管粘膜下腫瘍に対する腹腔鏡・内視鏡合同手術. 第 83 回日本内視鏡学会総会. 2012.5. 東京

(51) 稲木紀幸, 野 宏成, 松永 正, 石山泰寛, 北村祥貴, 山本道宏, 小竹優範, 黒川 勝, 伴登宏行, 山田哲司. 腹腔鏡下胃切除における膈上縁リンパ節 ω 郭清手技. 第 67 回消化器外科学会総会, 2012.7. 富山

(52) 稲木紀幸. 腹腔鏡下胃癌手術における Reduced Port Surgery の現状と行方. Reduced Port Surgery Forum. 2012.8. 札幌

(53) 森山秀樹, 稲木紀幸, 石橋玲子, 斎藤直毅, 野宏成, 北村祥貴, 小竹優範, 黒川勝, 伴登宏行, 山田哲司. 噴門側胃切除後の再建法～当科での

double tract 法の検討～. 第 42 回胃外科・術後障害研究会. 2012.11. 東京

(54) 稲木紀幸, 石橋玲子, 斎藤直毅, 野宏成, 北村祥貴, 森山秀樹, 小竹優範, 黒川勝, 伴登宏行, 山田哲司. 腹腔鏡下胃全摘, 噴門側胃切除における再建法と工夫. 第 74 回日本臨床外科学会総会. 2012.11. 東京

(55) 稲木紀幸, 石橋玲子, 斎藤直毅, 野宏成, 北村祥貴, 森山秀樹, 小竹優範, 黒川勝, 伴登宏行, 山田哲司. 腹腔鏡下胃癌手術における Reduced Port Surgery の現状と展望. 第 74 回日本臨床外科学会総会. 2012.11. 東京

(56) 石橋玲子, 稲木紀幸, 森山秀樹, 斎藤直毅, 野宏成, 北村祥貴, 小竹優範, 黒川勝, 伴登宏行, 山田哲司, 早稲田洋平, 土山寿志. 当院における胃粘膜下腫瘍に対する LECS の検討. 第 74 回日本臨床外科学会総会. 2012.11. 東京

(57) 森山秀樹, 稲木紀幸, 石橋玲子, 斎藤直毅, 野宏成, 北村祥貴, 小竹優範, 黒川勝, 伴登宏行, 山田哲司. 当科における噴門側胃切除後の double tract 法の検討. 第 74 回日本臨床外科学会総会. 2012.11. 東京

(58) 稲木紀幸. 完全無血を追求した腹腔鏡下胃癌手術. 第 25 回日本内視鏡外科学会. 2012.12. 横浜

(59) 森山秀樹, 稲木紀幸, 石橋玲子, 斎藤直毅, 野宏成, 北村祥貴, 小竹優範, 黒川勝, 伴登宏行, 山田哲司. 胃腫瘍に対するハイブリッド手術の現状と展望. 第 25 回日本内視鏡外科学会. 2012.12. 横浜

(60) 肥田圭介, 藤原久貴, 西成 悠, 渡邊陽太郎, 若林 剛: 腹腔鏡下胃癌手術の pitfall とその対策. 第 84 回日本胃癌学会総会、2012.2、大阪

(61) 肥田圭介、藤原久貴、千葉丈広、西成 悠、渡邊陽太郎、若林 剛：腹腔鏡下幽門保存胃切除術(LAPPG)の手技と cine-MRI を用いた術後胃運動機能評価. 第 84 回日本胃癌学会総会、2012.2、大阪

(62) 藤原久貴、肥田圭介、高橋正統、千葉丈広、西成悠、渡邊陽太郎、若林剛：高齢者進行胃癌患者に対する術前化学療法の治療成績. 第 84 回日本胃癌学会総会、2012.2、大阪

(63) 藤原久貴、肥田圭介、高橋正統、千葉丈広、西成 悠、渡邊陽太郎、木村祐輔、大塚幸喜、新田浩幸、柏葉匡寛、佐々木章、水野大、若林剛：当科における腹腔鏡下胃全摘術の短期成績の検討. 第 112 回日本外科学会総会、2012.4 千葉

(64) 肥田圭介、藤原久貴、西成悠、渡邊陽太郎、西塚 哲、木村祐輔、新田浩幸、大塚幸喜、佐々木章、若林 剛：腹腔鏡下幽門側胃切除における迷走神経腹腔枝温存 D2 リンパ節郭清. 第 67 回日本消化器外科学会総会、2012.7、富山

(65) 藤原久貴、肥田圭介、高橋正統、千葉丈広、木村祐輔、大塚幸喜、新田浩幸、佐々木 章、水野 大、若林 剛：当科における胃癌術後患者に対する VTE 予防の検討. 第 67 回日本消化器外科学会総会、2012.7、富山

(66) 西塚哲、遠藤史隆、石田和茂、久米浩平、片桐弘勝、松尾鉄平、大塚幸喜、肥田圭介、佐々木章、若林 剛：術後補助療法効果予測マーカーの同定とその生物学的意義の検証. 第 67 回日本消化器外科学会総会、2012.7、富山

(67) 肥田圭介、藤原久貴、西成悠、渡邊陽太郎、西塚哲、木村祐輔、新田浩幸、大塚幸喜、佐々木章、若林剛：完全腹腔鏡下胃切除術における Linear Stapler

による再建と Barbed Suture Closure Device による挿入孔閉鎖の工夫. 第 20 回日本消化器関連学会週間 (JDDW2012)、2012.10、神戸

(68) 肥田圭介、藤原久貴、西成悠、渡邊陽太郎、西塚 哲、木村祐輔、新田浩幸、大塚喜、柏葉匡寛、佐々木章、水野 大、若林剛：進行・再発胃癌に対する二次以降化学療法としての低用量 CPT-11/CDDP 療法の検討. 第 50 回日本癌治療学会、2012.10、横浜

(69) 藤原久貴、肥田圭介、高橋正統、千葉丈広、西成悠、渡邊陽太郎、木村祐輔、新田浩幸、大塚幸喜、柏葉匡寛、佐々木章、水野大、若林剛：当科における進行・再発胃癌に対する Trastumab 併用化学療法の経験. 第 74 回日本臨床外科学会、2012.11、東京

(70) 鴻巣正史、肥田圭介、藤原久貴、木村祐輔、岩谷岳、秋山有史、西塚 哲、新田浩幸、大塚幸喜、柏葉匡寛、佐々木章、水野 大、若林 剛：高齢者における腹腔鏡補助下胃切除術の検討. 第 25 回日本内視鏡外科学会総会、2012.12、横浜

(71) 肥田圭介、藤原久貴、西成悠、渡邊陽太郎、西塚哲、木村祐輔、新田浩幸、大塚幸喜、佐々木章、水野大、若林剛：完全腹腔鏡下胃切除術における Linear Stapler による再建と Barbed Suture Closure Device による挿入孔閉鎖の工夫. 第 25 回日本内視鏡外科学会総会、2012.12、横浜

(72) 井上健太郎、道浦拓、山田正法、向出裕美、福井淳一、徳原克治、岩本慈能、三木博和、里井壯平、中根恭司、權 雅 憲 . 胃 癌 手 術 に お け る HARMONIC FOCUS Curved Shears の有用性・安全性と手術スタッフの評価に関する無作為化比較試験. 2012.04

第 112 回日本外科学会定期学術集会、千葉

(73) 井上健太郎, 中根恭司, 小切匡史, 藤谷和正, 木村豊, 今村博司, 田村茂行, 岡野晋治, 辻仲利政, 古河洋. 治癒切除困難な局所進行胃癌に対する術前 TS-1/CDDP 療法が多施設共同第 2 相試験(OGSG0004). 2012.07. 第 67 回日本消化器外科学会総会、富山

(74) 井上健太郎, 中根恭司, 道浦拓, 福井淳一, 向出裕美, 山田正法, 三木博和, 上山庸佑, 中竹利知, 尾崎岳, 徳原克治, 岩本慈能, 里井壯平, 権雅憲. 開腹胃癌手術に超音波凝固切開装置が与える影響—無作為化比較試験—. 2012.10. 第 50 回日本癌治療学会学術集会、横浜

(75) 井上健太郎, 福井淳一, 向出裕美, 道浦拓, 菱川秀彦, 中谷和義, 山田正法, 津田匠, 徳原克治, 岩本慈能, 権雅憲. 鏡視下縫合手技の獲得を目指した腹腔鏡下胃切除トレーニング・プログラム. 2012.12. 第 25 回日本内視鏡外科学会、横浜

(76) 井上健太郎, 中根恭司, 道浦拓, 福井淳一, 向出裕美, 中井宏治, 山田正法, 尾崎岳, 権雅憲. 噴門側胃切除・空腸間置再建における当施設の変遷と今後の課題. 2012.12 第 42 回胃外科・術後障害研究会、東京

(77) 井上健太郎, 吉内佐和子, 福井淳一, 向出裕美, 道浦拓, 松島英之, 坂口達馬, 尾崎岳, 中根恭司, 権雅憲. 肥満患者の対する腹腔鏡胃切除—フォーミュラ食による術前減量の試み—. 2012.12. 第 42 回胃外科・術後障害研究会、東京

(78) 向出裕美, 井上健太郎, 福井淳一, 山田正法, 徳原克治, 道浦拓, 中井宏治, 岩本慈能, 中根恭司, 権雅憲. 胃切

除術後の上部消化管内視鏡検査前飲水による食物残渣減少の検討. 2012.05 第 191 回近畿外科学会、大阪

(79) 菱川秀彦, 井上健太郎, 道浦拓, 山田正法, 福井淳一, 向出裕美, 津田匠, 上山庸佑, 松島英之, 岩本慈能, 徳原克治, 中根恭司, 権雅憲. 若手育成の為の腹腔鏡下胃切除術に対する当科での試み. 2012.05. 第 191 回近畿外科学会、大阪

(80) 福井淳一, 井上健太郎, 三木博和, 向出裕美, 山田正法, 道浦拓, 徳原克治, 岩本慈能, 中根恭司, 権雅憲. 開腹胃癌手術における新型超音波凝固切開装置(Harmonic Focus)の有用性・無作為化比較試験による検討. 2012.07. 第 67 回日本消化器外科学会総会、富山

(81) 中井宏治, 尾崎岳, 山田正法, 福井淳一, 向出裕美, 道浦拓, 井上健太郎, 中根恭司, 権雅憲. 切除不能進行胃癌症例に対する DCS (S-1+CDDP+ Docetaxel) 療法の有効性の検証. 2012.07. 第 67 回日本消化器外科学会総会、富山

(82) 尾崎岳, 宮宗武史, 福井淳一, 山田正法, 道浦拓, 中井宏治, 井上健太郎, 中根恭司, 高田秀穂, 権雅憲. 多発胃癌を合併した胃 gastrointestinal stromal tumor の 1 例. 2012.07. 第 67 回日本消化器外科学会総会、富山

(83) 山田正法, 井上健太郎, 道浦拓, 中井宏治, 中根恭司, 権雅憲. 腹腔鏡下幽門側胃切除における Overlap 法での Roux-en-Y 再建の有用性. 2012.07. 第 67 回日本消化器外科学会総会 富山

(84) 向出裕美, 井上健太郎, 佐藤睦哉, 岩本慈能, 道浦拓, 徳原克治, 山田正法, 福井淳一, 中根恭司, 権雅憲. Staging laparoscopy における病病連携の有用性. 2012.07. 第 67 回日本消化

器外科学会総会 富山

(85) 道浦拓, 井上健太郎, 向出裕美, 福井淳一, 尾崎岳, 山田正法, 徳原克治, 中井宏治, 岩本慈能, 中根恭司, 権雅憲. 噴門側胃切除術後の QOL 評価. 2012.11 第 74 回日本臨床外科学会 東京

(86) 道浦拓, 中根恭司, 井上健太郎, 向出裕美, 福井淳一, 尾崎岳, 権雅憲. 単施設での経験からみた幽門保存胃切除の有用性. 2012.12 第 42 回胃外科・術後障害研究会東京

(87) 八幡和憲, 長田真二, 山田敦子, 加藤順子, 棚橋利行, 今井寿, 佐々木義之, 斎藤史朗, 田中善宏, 野中健一, 高橋孝夫, 山口和也, 二村学, 吉田和弘: 胃癌細胞に対する Vandetanib と 5-FU 併用による抗腫瘍効果. 第 112 回日本外科学会定期学術集会、千葉、2012.4.

(88) 山口和也, 浅井竜一, 安福至, 徳丸剛久, 櫻谷卓司, 太和田昌宏, 今井寿, 斎藤史朗, 佐々木義之, 田中善宏, 野中健一, 高橋孝夫, 長田真二, 吉田和弘: Stage IV 胃癌に対する化学療法後の外科的治療の意義. 第 112 回日本外科学会定期学術集会、千葉、2012.4.

(89) 八幡和憲, 長田真二, 山田敦子, 加藤順子, 棚橋利行, 田中善宏, 野中健一, 高橋孝夫, 山口和也, 二村学, 吉田和弘: 胃癌細胞株に対する Vandetanib と 5-FU の相乗効果の検討. 第 33 回癌免疫外科研究会、横浜、2012.5.

(90) 山口和也, 櫻谷卓司, 棚橋利行, 今井寿, 佐々木義之, 斎藤史朗, 田中善宏, 松橋延壽, 奥村直樹, 野中健一, 高橋孝夫, 長田真二, 吉田和弘: 腹腔鏡下噴門側胃切除術のリンパ節郭清と食道残胃吻合の工夫. 第 37 回日本外科

系連合学会学術集会、福岡、2012.6.

(91) 八幡和憲, 長田真二, 山田敦子, 加藤順子, 棚橋利行, 高橋孝夫, 山口和也, 二村学, 吉田和弘: 胃癌細胞株に対する Vandetanib と 5-FU の相乗効果のメカニズム. 第 21 回日本癌病態治療研究会、群馬、2012.7.

(92) 斎藤史朗, 徳丸剛久, 大和田昌宏, 田中善宏, 奥村直樹, 野中健一, 高橋孝夫, 山口和也, 長田真二, 吉田和弘: pT2 以深胃癌に対する腹腔鏡下胃切除術の成績. 第 67 回日本消化器外科学会総会、富山、2012.7.

(93) 山口和也, 浅井竜一, 徳丸剛久, 櫻谷卓司, 大和田昌宏, 斎藤史朗, 田中善宏, 高橋孝夫, 長田真二, 吉田和弘: Stage IV 胃癌に対する外科的切除の効果予測. 第 67 回日本消化器外科学会総会、富山、2012.7.

(94) 奥村直樹, 大和田昌宏, 斎藤史朗, 田中善宏, 高橋孝夫, 山口和也, 長田真二, 吉田和弘: 鏡視下噴門側胃切除術におけるリンパ節郭清の工夫. 第 67 回日本消化器外科学会総会、富山、2012.7.

(95) 八幡和憲, 長田真二, 今井寿, 佐々木義之, 田中善宏, 野中健一, 高橋孝夫, 山口和也, 二村学, 吉田和弘: 胃癌細胞株に対する Vandetanib と 5-FU 併用による抗腫瘍効果のメカニズム. 第 67 回日本消化器外科学会総会、富山、2012.7.

(96) 八幡和憲, 長田真二, 兼松昌子, 福田賢也, 山田敦子, 加藤順子, 奥村直樹, 松橋延壽, 野中健一, 高橋孝夫, 山口和也, 二村学, 吉田和弘: 胃癌細胞に対する Vandetanib と 5-FU の相乗効果による新規治療戦略. 第 71 回日本癌学会学術総会、札幌、2012.9.20

(97) 奥村直樹, 山口和也, 野中健一、

高橋孝夫、長田真二、吉田和弘：当科における POCY 1 胃癌の検討。(JDDW) 第 10 回日本消化器外科学会大会、神戸、2012.10.

(98) 松橋延壽、斉藤史郎、田中善宏、奥村直樹、野中健一、高橋孝夫、山口和也、長田真二、吉田和弘：当科における腹腔鏡下胃切除における長期予後についての検討。第 10 回日本消化器外科学会大会、神戸、2012.10.

(99) 八幡和憲、長田真二、山田敦子、加藤順子、棚橋利行、高橋孝夫、山口和也、二村学、吉田和弘：胃癌細胞株に対する Vandetanib と 5-FU の相乗効果とそのメカニズム。(JDDW) 第 10 回日本消化器外科学会大会、神戸、2012.10.

(100) 吉田和弘：胃がん。第 50 回日本癌治療学会学術集会、2012.10.25、横浜

(101) 山口和也、加納寛悠、館正仁、櫻谷卓司、棚橋利行、今井寿、斉藤史郎、佐々木義之、松橋延壽、奥村直樹、長瀬通隆、野中健一、高橋孝夫、長田真二、吉田和弘：StageIV 胃癌に対する手術症例の検討。第 50 回日本癌治療学会学術集会、横浜、2012.10.

(102) 松橋延壽、斉藤史郎、奥村直樹、高橋孝夫、山口和也、長田真二、吉田和弘：当科における腹腔鏡下胃切除術における長期予後の検討。第 50 回日本癌治療学会学術集会、横浜、2012.10.

(103) 八幡和憲、長田真二、兼松昌子、福田賢也、山田敦子、加藤順子、棚橋利行、田中善宏、奥村直明、松橋延壽、野中健一、高橋孝夫、山口和也、二村学、吉田和弘：胃癌細胞に対する Vandetanib と 5-FU の相乗効果による新規治療戦略。第 50 回日本癌治療学会学術集会、横浜、2012.10.

(104) K. Yoshida, K. Yamaguchi, N. Okumura, T. Takahashi, Y. Tanaka, S. Osada: Surgical treatment of gastric cancer in Japan. 第 50 回日本癌治療学会学術集会、2012.10.26、横浜

(105) 吉田和弘、山口和也、奥村直樹、高橋孝夫、田中善宏、長田真二、長瀬通隆：進行・再発胃癌における HER2 検査の実態。第 50 回日本癌治療学会学術集会、2012.10.26、横浜

(106) 奥村直樹、山口和也、斉藤史郎、今井寿、佐々木義之、田中善宏、松橋延壽、野中健一、高橋孝夫、長田真二、吉田和弘：当科における肝転移を伴う StageIV 胃癌に対する治療成績。第 50 回日本癌治療学会学術集会、横浜、2012.10.

(107) 八幡和憲、長田真二、兼松昌子、福田賢也、山田敦子、加藤順子、棚橋利行、田中善宏、奥村直樹、松橋延壽、野中健一、高橋孝夫、山口和也、二村学、吉田和弘：消化器がんに対する Vandetanib と 5-FU の相乗効果とメカニズム解析。第 23 回日本消化器癌発生学会総会、徳島、2012.11.

(108) 松橋延壽、加納寛悠、館正仁、櫻谷卓司、棚橋利行、今井寿、佐々木義之、斉藤史郎、田中善宏、奥村直樹、野中健一、高橋孝夫、山口和也、長田真二、吉田和弘：当科における胃 GIST に対して腹腔鏡手術症例の検討。第 74 回日本臨床外科学会総会、東京、2012.12.

(109) 吉田和弘、坂下文夫、山本淳史、尾関豊、山口和也、奥村直樹、竹村博文、北島康夫、山田實紘：Robotic surgery による胃切除導入に際してのことと pitfall。第 25 回日本内視鏡外科学会総会、2012.12.6、横浜

(110) 山口和也、今井寿、佐々木義之、

田中善宏、奥村直樹、松橋延壽、野中健一、高橋孝夫、長田真二、吉田和弘：当科における腹腔鏡下胃切除術の手術成績と長期予後。第 25 回日本内視鏡外科学会総会、横浜、2012.12.

(111) 奥村直樹、山口和也、館正仁、櫻谷卓司、棚橋利行、今井寿、佐々木義之、田中善宏、松橋延壽、野中健一、高橋孝夫、長田真二、吉田和弘：当科における腹腔鏡噴門側胃切除術の検討。第 25 回日本内視鏡外科学会総会、横浜、2012.12.

(112) 八幡和憲、長田真二、福田賢也、兼松昌子、山田敦子、加藤順子、棚橋利行、田中善宏、奥村直樹、松橋延壽、野中健一、高橋孝夫、山口和也、二村学、吉田和弘：消化器癌に対する Vandetanib と 5-FU の相乗効果。第 25 回日本バイオセラピー学会学術集会総会、倉敷、2012.12.

(113) 水口知香、稲田高男、松下尚之：4 型胃癌に対する治療成績の向上に関する検討。第 85 回日本胃癌学会、2013.2. 大阪

(114) 浅生義人、安藤恭久、西内綾、西野裕人、奥村晋也、藤浩明、錦織達人、加藤滋、門川佳央、近藤正人、待本貴文、古山裕章、吉村玄浩：当院の腹腔鏡補助下胃全摘術の成績について。第 25 回日本内視鏡外科学会総会、2012.12、横浜

(115) 近藤正人、安藤恭久、西内綾、西野裕人、奥村晋也、藤浩明、錦織達人、政野裕紀、佐々木勉、待本貴文、浅生義人、山之口賢、古山裕章、吉村玄浩：腹腔鏡補助下幽門側胃切除術での RY 再建。第 66 回日本消化器外科学会総会、2011.7、名古屋

(116) 西野裕人、安藤恭久、西内綾、奥村晋也、藤浩明、錦織達人、政野裕紀、

佐々木勉、近藤正人、待本貴文、浅生義人、山之口賢、古山裕章、吉村玄浩：化学療法により門脈腫瘍塞栓が消失し切除しえた AF 産生胃癌の 1 例。第 73 回日本臨床外科学会総会、2011.11、東京

(117) 矢田匡、錦織達人、佐々木勉、西野裕人、安藤恭久、西内綾、奥村晋也、藤浩明、政野裕紀、近藤正人、待本貴文、浅生義人、山之口賢、古山裕章、吉村玄浩：TS-1/CDDP 療法による術前化学療法で組織学的 CR を得た進行胃癌の一例。第 73 回日本臨床外科学会総会、2011.11、東京

(118) 藤浩明、西野裕人、安藤恭久、西内綾、奥村晋也、錦織達人、政野裕紀、佐々木勉、近藤正人、待本貴文、浅生義人、山之口賢、古山裕章、吉村玄浩：幽門側胃切除、Billroth II 法再建 40 年後に輸入脚の穿孔をきたした 1 例。第 73 回日本臨床外科学会総会、2011.11、東京

(119) 浅生義人、安藤恭久、西野裕人、西内綾、奥村晋也、藤浩明、錦織達人、政野裕紀、佐々木勉、近藤正人、待本貴文、山之口賢、古山裕章、吉村玄浩：当院の OrVil を用いた腹腔鏡補助下胃全摘術の再建における工夫。第 24 回日本内視鏡外科学会総会、2011.12、大阪

(120) 浅生義人、安藤恭久、西内綾、西野裕人、奥村晋也、藤浩明、錦織達人、政野裕紀、佐々木勉、近藤正人、待本貴文、山之口賢、古山裕章、吉村玄浩：当院の胃癌術前化学療法の現状について。第 35 回京大関連施設外科研究会、2012.1、京都

(121) 浅生義人、安藤恭久、西内綾、西野裕人、奥村晋也、藤浩明、錦織達人、政野裕紀、佐々木勉、近藤正人、待本貴文、山之口賢、古山裕章、吉村玄浩：

腹腔鏡補助下胃全摘術の安全性についての検討. 第 84 回日本胃癌学会総会、2012.2、大阪

(122) 近藤正人、安藤恭久、西内綾、西野裕人、奥村晋也、藤浩明、錦織達人、政野裕紀、佐々木勉、待本貴文、浅生義人、山之口賢、古山裕章、吉村玄浩：OrVil を用いた食道先行切離による腹腔鏡補助下胃全摘術の安定した再建. 第 84 回日本胃癌学会総会、2012.2、大阪

(123) K. Ito, T. Nishigori, Y. Asao, M. Kondo, T. Yoshimura: A case of metachronous colon metastasis from gastric cancer. 第 84 回日本胃癌学会総会、2012.2、大阪

(124) 中森幹人、辻俊明、岩橋誠、中村公紀、尾島敏康、飯田武、勝田将裕、松村修一、早田啓治、谷眞至、川井学、瀧藤克也、山上裕機：固形癌の環境破壊機能を有する腫瘍溶解ウイルス製剤の開発. 第 112 回日本外科学会、2012.4、幕張

(125) 中村公紀、岩橋誠、中森幹人、尾島敏康、勝田将裕、飯田武、辻俊明、早田啓治、松村修一、川井学、谷眞至、瀧藤克也、山上裕機：胃癌に対する脾門リンパ節転移の予測因子と郭清の意義. 第 112 回日本外科学会、2012.4、幕張

(126) 早田啓治、岩橋誠、尾島敏康、勝田将裕、飯田武、中森幹人、中村公紀、上田健太郎、宮澤基樹、辻俊明、川井学、谷眞至、瀧藤克也、山上裕機：癌微小環境で産生される炎症性サイトカイン IL-17 を標的とした新規腫瘍免疫療法の開発. 第 112 回日本外科学会、2012.4、幕張

(127) 松村修一、中森幹人、岩橋誠、中村公紀、尾島敏康、飯田武、勝田将裕、

辻俊明、早田啓治、山上裕機：胃癌における Beclin-1 の発現とオートファジー誘導に関する基礎的・臨床的検討. 第 112 回日本外科学会、2012.4、幕張
(128) 辻俊明、岩橋誠、中森幹人、中村公紀、尾島敏康、勝田将裕、飯田武、早田啓治、松村修一、山口俊介、谷眞至、川井学、瀧藤克也、山上裕機：CY 陽性単独の非治癒切除胃癌症例の臨床病理学的検討. 第 112 回日本外科学会、2012.4、幕張

(129) 早田啓治、岩橋誠、尾島敏康、勝田将裕、飯田武、中森幹人、中村公紀、宮澤基樹、辻俊明、上田健太郎、山上裕機：癌微小環境で産生される炎症性サイトカイン IL-17 の制御は腫瘍浸潤リンパ球の細胞傷害活性を増強する. 第 33 回癌免疫外科研究会、2012.5、横浜

(130) 中森幹人、岩橋誠、辻俊明、松村修一、中村公紀、尾島敏康、飯田武、勝田将裕、早田啓治、山上裕機：消化器癌に対する機能付加型ウイルス製剤の基礎的研究開発. 第 67 回日本消化器外科学会、2012.7、富山

(131) 辻俊明、岩橋誠、中森幹人、中村公紀、尾島敏康、飯田武、勝田将裕、早田啓治、松村修一、山上裕機：審査腹腔鏡による胃癌腹膜播種診断と治療成績. 第 67 回日本消化器外科学会、2012.7、富山

(132) 竹内昭博、中村公紀、飯田武、岩橋誠、中森幹人、尾島敏康、勝田将裕、辻俊明、松村修一、山上裕機：CCDP 投与を契機に SIADH を発症した進行胃癌の 2 例. 第 67 回日本消化器外科学会、2012.7、富山

(133) 中村公紀、岩橋誠、中森幹人、尾島敏康、勝田将裕、飯田武、辻俊明、松村修一、瀧藤克也、山上裕機：超音

波内視鏡は胃癌の術前診断に有用か？
—1044 例からの解析—. 第 67 回日本
消化器外科学会, 2012.7, 富山
(134) 尾島敏康, 瀧藤克也, 中村公紀,
岩橋誠, 中森幹人, 勝田将裕, 飯田武,
山上裕機: 胃 ESD に伴う合併症の解析.
第 84 回日本消化器内視鏡学会,
2012.10, 神戸
(135) M. Nakamori, M. Iwahashi, T.
Tsuji, S. Matsumura, T. Ojima, T.
Iida, M. Nakamura, M. Katsuda, K.
Hayata, Y. Ino, T. Todo, H. Yamaue:
Therapeutic enhancement via an
armed oncolytic herpes simplex virus
expressing thrombospondin-1 for
human gastric cancer. The 71st
Annual Meeting of the Japanese
Cancer Association, 2012.9, Sapporo.
(136) T. Ojima, M. Iwahashi, M.
Nakamori, M. Nakamura, M.
Katsuda, T. Iida, K. Hayata, T. Naka,
T. Tsuji, S. Matsumura, T. Kato, K.
Ueda, H. Yamaue: Association of
allogeneic blood transfusions and
long-term survival of gastric cancer
patients. The 71st Annual Meeting of
the Japanese Cancer Association,
2012.9, Sapporo
(137) 岩崎善毅、大橋学、岩永知大、大
日向玲紀、高橋慶一、山口達郎、松本
寛、中野大輔: 高度進行胃癌に対する
術前化学療法. 第 112 回日本外科学会定
期学術集会、千葉、2012 年 4 月
(138) 岩崎善毅、大橋学、岩永知
大: Stage IV 胃癌に対する術前化学療法
と手術療法による集学的治療. 第 10 回
日本消化器外科学会大会、神戸、2012
年 10 月
(139) 二宮基樹, 丁田泰宏, 金澤卓, 藤
原康宏, 原野雅生, 松川啓義, 小島康知, 塩

崎滋弘, 大野聡: 癌の局所制御を目指し
た大動脈周囲リンパ節郭清術 (ビデオ
ワークショップ). 第 84 回日本胃癌
学会総会、2012.2、大阪
(140) 二宮基樹, 丁田泰宏, 金澤卓, 藤
原康宏, 原野雅生, 松川啓義, 小島康知, 塩
崎滋弘, 大野聡: 胃癌手術における再建
法と機能評価 (ビデオシンポジウム).
第 112 回日本外科学会定期学術集会、
2012.4、千葉
(141) 二宮基樹, 丁田泰宏, 金澤卓:
膜構造と「起点」「受け」「底」を意識
した胃癌リンパ節郭清. 第 20 回日本消
化器関連学会集会 2012.10、神戸
(142) 衛藤剛、猪股雅史、白石憲男、北
野正剛: Alexa Fluor 488 付加制限増殖
型レオウイルスを用いた新しいトレー
サーの開発. 第 71 回日本がん学会学術
総会. 2012.9.19-21 札幌.
(143) 草野徹、上田貴威、當寺ヶ盛学、
白下英史、衛藤剛、猪股雅史、野口剛、
白石憲男、北野正剛: 膈上縁リンパ節転
移を有する進行胃癌の病理学的特徴.
第 10 回日本消化器外科学会 .
2012.10.10-13 神戸
(144) 原田勝久、野口剛、柴田智隆、上
田貴威、衛藤剛、猪股雅史、白石憲男、
北野正剛: 腹膜播種再発に対してイマ
チニブが奏効している小腸 GIST の 1
例. 第 50 回日本癌治療学会 .
2012.10.25-27 横浜
(145) 赤木智徳、猪股雅史、衛藤剛、野
口剛、白石憲男、北野正剛: 大腸がん患
者におけるリンパ節転移および予後不
良の指標としての Visinin-like
protein-1 (VSNL-1) 発現の有用性. 第
23 回日本消化器癌発生学会 .
2012.11.15-16 徳島
(146) 衛藤剛、白石憲男、北野正剛: 腹
腔鏡補助下幽門側胃切除術の進行胃癌

に対する適応拡大の検証：多施設共同
ランダム化第Ⅱ相試験. 第25回日本内
視鏡外科学会総会. 2012.12.6-8 横浜

H. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む)

1. 特許取得

該当するもの無し

2. 実用新案登録

該当するもの無し

3. その他

該当するもの無し